

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ピース可児		2026年 3月 1日				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	6		
	2	6			子どもの利用人数や特性に合わせた配置を心がけています。	
	3	6			絵カードや写真などを使って視覚支援による構造化を図っています。	机上にはアクリル板を設置してはいますが、壁面の構造化は難しいのが現状です。子どもが一人で移動することなく常に職員が傍についており必要に応じて補助を行うなどより安全に配慮しています。
	4	6			指導訓練室以外にも、相談室や静養室など児童が安心・快適に過ごせるように活動ごとに部屋を分けることが出来ており、常に消毒・整理整頓を心がけています。	
	5	6			パニック時のクールダウンや学習時間など集中して取り組む必要がある時など、子どもの人数や特性に合わせて使用が認められる環境になっています。	
業務改善	6	6			休みの職員がいても別日に日程を設けたり、申し送りにて広く職員が参画しているようにしています。	
	7	6			児童発達支援事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、意向を把握し改善に努めています。	
	8	6			何かしらの不安点や意見等があった場合にはすぐに職員と話し合ったり、意見を出し合う会議のような機会を設けて把握し、業務改善に繋げています。	
	9	2	2	2	現在は利用者との評価のみとなっていますが、評価に基づいて運営会議を行っています。	
	10	6			外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。	実践に繋がるような研修を受講していく
適切な支援	11	6			活動内容に沿った支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しています。	
	12	6			アセスメントを適切に行い、ニーズを把握したり、見学や体験時に行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部で取った発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。	
	13	5	1		日頃の活動の様子や小さな課題を職員同士で話し合い、それらを共に児発言と職員で話し合っ共通理解を持って個別支援計画を作成しています。	
	14	5	1		職員間で共有し個別支援計画に沿った支援を行っています。	
	15	5	1		発達検査や知能検査等のフォーマルなアセスメントについては保護者よりお知らせをいただいで確認し、日々の支援内容や行動分析はインフォーマルなアセスメントとして事務所の様々な書類にて記録・確認をしています。	
	16	6			アセスメントを基にガイドラインで示されている支援内容に沿って具体的な支援内容を検討し設定しています。	
	17	4		2	会議やミーティングで立案・アイデアを絶えず職員に求めて出し合っています。ミーティング参加が困難な職員へは申し送りノートなどを使用しながら周知できる環境を整えています。	ミーティング参加ができない職員へも、今以上に丁寧な説明を行い職員全員が意識を持って向き合えるように計画を立てていきます。

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	個々の発達段階や課題に応じて内容を発展させています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	活動に片寄りのないよう準備・課題設定し、職員間で情報共有をしています。それを基に児発管が個別支援計画を作成しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	前回利用時の児童の支援内容や課題等をふまえ、職員間で支援内容を情報共有し、役割分担を確認して支援しています。	ミーティング参加ができない職員へも、日々の支援内容など視覚化することで職員全員が意識を持って向き合えるようになっていきます。またそれに向けて準備中です。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援終了後には職員間で、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しています。	ミーティング参加ができない職員へも、日々の支援内容など視覚化することで職員全員が意識を持って向き合えるようになっていきます。またそれに向けて準備中です。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録の中で気付いた点などは、必ずミーティング時に話し合い支援方法の改善を行っています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		毎月のモニタリング評価から児童の変化や様子を職員間で話し合い、それを基に6ヶ月ごとのモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		「4つの基本活動」を組み合わせさせて支援を行えるよう取り組んでいます。	ガイドラインの「4つの基本活動」を全職員が共有できるように社内研修で徹底していき、バリエーション豊かな支援活動や内容を実施していきます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己決定する力を育てるため、様々な意思決定に向けて支援の工夫を行っています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者だけでなく、必要に応じて利用者の状況を知る職員（内部・外部問わず）に参画している。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	市役所や相談支援事業所、小学校や教育研究所など連携の必要ある専門機関とは連携して支援を行っています。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者や学校と情報交換を図っています。利用予定変更等連絡にはすぐに対応しています。その他、気になることがあれば直ぐに電話などで確認を行っています。	今後も保護者からの不信感が生まれないよう、きめ細やかな確認作業を徹底していきます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	同施設内の児童発達支援事業所を卒園した利用者は情報共有がなされています。その他の利用者は必要に応じて情報共有を行っています。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	過去に対象児童はいません。	過去に対象児童はいませんが、必要に応じて情報共有等を行っていきたくと思います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	1	児童発達支援センターと連携を図り、児童の担当専門機関からの助言を頂くことはできています。	今後、地域のスーパーバイズや助言などを受ける機会を設けていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		事業所として交流活動等の実績はありません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		要請があれば参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			日々の送迎の際に子供の状況や課題について話をする機会を設けています。必要に応じて個別に面談の時間も設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		面談や送迎時に、対応などのアドバイスを伝えられるように心がけています。	保護者のご要望に応じ参加できる研修や情報提供を行っていきたくと思います。職員はペアレント・トレーニングの知識を習得できるように研修の機会を設けていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明しています。また更新面談時や進学時の料金変更時など必要に応じて丁寧な説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		契約時でのアセスメントや、モニタリング時の会話内容から児童や家族の意向を基に個別支援計画を作成し、総合的な目標として意向を確認して支援しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1		内容について説明し、質問や不明点については随時受け付けております。個別支援計画についても同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的な更新面談時に相談の時間を設けています。相談を受けた際には、職員間で情報共有し、体整を整備すると共に、迅速に対応出来るようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		1	5	現在、保護者会等は開催しておりません。また兄弟同士で交流する機会等の支援もしていません。	以前は保護者の交流の機会が設けられるような支援を行っていましたが、参加する日程などお仕事をされている中での来所が難しい方が多いため行っておりませんが、ご希望があれば今後検討させていただきますと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		相談や申し入れがあった際には、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			毎月事業所だよりを発行しています。またご利用者様にはSNSやお便りで行事の様子を発信しています。	今後は行事予定も事前に発信していけるよう準備しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			個人情報に記載された書類は鍵付きの書庫で保管しています。職員に個人情報取り扱いについての指導を行い、管理について徹底しています。職員は社内の個人情報の取り扱いについての研修にも参加しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			児童の特性や様子等把握し、相手に伝わるコミュニケーションの方法を考え実施しています。言葉と共にサイン（ジェスチャー）を使用したり、見てわかりやすいよう視覚補助的教材を使うなど伝達方法を工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	5	招待する等の運営は行っておりませんが、散歩等の際に挨拶したりして関わっています。	現在は地域住民を招待する主体的な行事は行っていません。個人情報等の課題をクリアしつつ、保護者に意見を聞きながら検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			マニュアルを策定し、職員ミーティングに対応方法の確認を行ったり、保護者へは契約時に説明をおこない、待機的に災害時の対応方法のお便りを配布していますが、必要に応じて改善を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			BCPを策定し、様々な場面を想定して避難・救出・その他必要な訓練を行っています。定期的に水害・地震、火災の避難訓練を行い防災に関する外部研修等がある際は職員が参加します。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			契約時にアセスメントを行い子どもの状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		食物アレルギーの有無は契約時に保護者から聞き取りをしております。必要に応じて服薬・投薬・緊急搬送の取り決めを保護者との、医師にも確認をお願いしています。	現在医師から指示が出ている児童はいませんが、定期的に確認を行い、全職員が周知できるよう発信していきたいと思っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全計画を作成し、定期的な点検と必要に応じ修繕を行い安全管理を行っています。支援中に築いたことは職員間で共有し速やかに改善に向けて対応しています。	常に安全点検を行い、回収が必要な箇所を見つけた場合は、早急に改修や補修を行っていきけるように職員間の連携や情報の共有を強化していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		事業所だよりなどで、取り組み内容やご家庭での取り組み依頼を発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			発生時に職員間で共有し、事故防止委員会でもどんな事故につながるかなど改めて話し合う機会を設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			外部の研修に職員が参加したり、定期的な委員会にて再確認を行うようにしています。毎月のセルフチェックを行うことで虐待防止の意識づけも行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		現在、対象児童はおりませんが、必要がある場合の体制整備は行っております。		